

平成18年7月1日

圓頓寺たより

第50号

# 記念号

(50号)

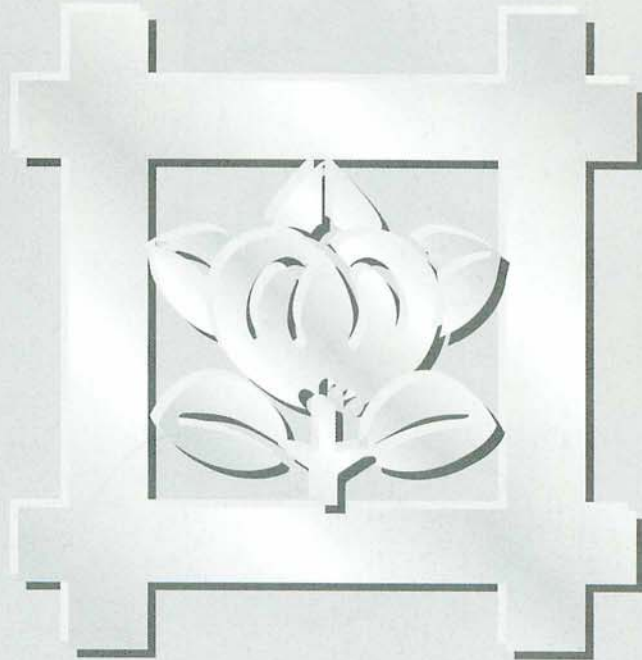


発行所

山鹿市山鹿55

圓頓寺

☎43-2424



明治二十年十月熊本県下布教の際

「村雲尼公・瑞法院宮日栄尼公」より圓頓寺へ授与された御本尊



村雲御所『瑞龍寺』

文禄五年(一五九六)、豊臣秀吉の姉君・瑞龍寺殿日秀尼公が、高野山で自刃したわが子の菩提を弔うために建立した寺院。この時、後陽成天皇より京都村雲の地と瑞龍寺の寺号、さらに寺禄一千石を賜り、紫衣の着用と菊御紋使用が許され、村雲御所と呼ばれるようになった。後継者は皇族・華族からでて、代々尼宮が住持する慣わし。十世の法灯を継がれたのが「瑞法院宮日栄尼公」で、明治天皇のおば君にあたられます。尼公はご親教に各地を巡られ、全国に村雲婦人会を創設され、圓頓寺には明治二十年にご来訪いただき、爾来、今日の婦人会として受継がれています。



# 圓頓寺たより五十号に御礼

第三十三世

順信院日薫

我が宗門が、宗祖御降誕八百年にむかつて、新しい宗門運動を起こし、「立正安国・お題目結縁運動」と名づけて、僧・俗一致団結



初講法要で特別祈禱する住職

社会教化に乗り出したことは、まことに時宜を得た、聖誕慶讃の強力な伝道布教活動に成ることは間違いありません。

## 圓頓寺たより五十号

當山が正法護持の言説布教を目的に「圓頓寺たより」を定期創刊して五十号に及びます。正しい教えを受け、事が出来る「教化伝道紙」として昭和五十年一月創刊号から三十一余年の星霜を教え感慨無量の想いを禁じ得ません。

その間（五十号の歩みは詳細後述）、発刊運営編集に携われてこられた多くの

皆様のご理解とご尽力に対し、さらに、檀信徒さまの知見を開き、お題目の結縁増進の糧として、信心を鼓舞して、宗風教育の徳化を薰じられたご協力に甚深の敬意を表すものです。

この度、特別寄稿を日蓮宗熊本県宗務所長・肥後正立寺御山主・塩田義徹僧正と久留米市妙正寺御山主・田中潮祐僧正の各聖又各位より慶讃の一章を賜り、発行出来ましたことは、誠に有難く名譽なことで存じ御礼申し上げます。

今後、本誌の更なる飛躍と勇進を記念し「次世代への教化伝導」の役割を果たしていきたいと存じます。

さて、當山においても、  
八百年と四百年  
さて、當山においても、

ビル新築工事から増改築まで何でも致します  
住宅金融公庫その他手続代行

## 井上組 株式会社

本総代 井上勝介  
護持会会計  
熊本県山鹿市下吉田691番地  
TEL. 43-2204

慶弔用お花承ります

営業案内 生花・造花・鉢物



全国へお花が送れます。詳しくはお気軽にお電話で！

帯山プラザ内  
熊本市三郎1丁目1-1-5 TEL096-387-4607

次世代への時代の幕あけとともに、殊に、平成三十五年に宗祖御生誕八百年と圓頓寺の開創四百年の慶節をお迎えます。

宗祖によって示された法華経の「妙法蓮華・教菩薩法・仏所護念」という、正しい法を立てる(立正)ことによって、世界中の国々の平安(安国)を実現することは、日蓮大聖人の一大悲願であり、妙法流布の願いを現実のものにするため、「お題目を次世代へ伝える運動」であり、慶讃事業や伝道布教など宗教活動の目的でもあります。

慶讃記念事業落慶

當山は、次の通り「慶讃第一期記念事業」として、平成十七年七月、仏天のお



初行成満副住職を出迎える檀信徒

加護を戴き、「新庫裡」の新築が落慶いたしました。又、平成十八年七月、次世代への教化伝導紙である「圓頓寺たより」五十号(お盆号)を発刊することができました。

副住職大荒行再行

さらに、本年は、十一月より寒中耆百日間、宗門が

開設する、三大荒行で知られる「副住職日攝上人日蓮宗大荒行堂弟再行入行」については、既に趣意書を配布しご支援をお願いいたしましたように、日攝上人の誓願することろの、宗祖御生誕八百年と圓頓寺の開創四百年慶讃報恩記念事業を成就せんがためと、日蓮大聖人直授の本化祈禱の奥義秘法を感得し修法道を修めたく、過酷な修行道場「日蓮大荒行堂」へ志願し、當山法嗣として日攝上人は、不惜身命で入行いたす覚悟をしております。

荒行僧が祈念・供養

特に、大荒行中は、特別祈念と御先祖供養をお申し込みの方には、早暁三時より夜半十一時まで、寒水と

建設業  
砂利採取販売業  
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483  
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

代表取締役 中原徳男

熊本県山鹿市栄町298  
電話(0968)43-2087



苦行で身を清めた百五十余名の荒行僧に依り、毎日、壱百日間それぞれの祈念・供養が行われますので、このような恵まれたるまたとなきこの機会に、多くの方々兄弟・親類・知己へ、特に宗派は問はず結縁お勧めくださいます様お願い申し上げます。

ご支援・ご協力を  
 お願い申し上げます。

尚、入行に際しましては、入行費用・帰山式費用・本山志納金・第再行幣束秘法奥伝相承料等多額の費用を要します。皆様方の御祈念料・浄財によって充当いたしたいと存じますので、當山後継者徒弟教育の援助の御支援御協力の程お願い申し上げます。

最後に、大荒行堂入行の

出立もあとわずかに迫ってまいりましたので、誠に恐縮ですがお世話人様を通じ、最終の取りまとめをいただき、お世話人様不在の所は、當山法要の折ご納入下され



鬼子母神大祭の住職

ば幸甚です。  
 (十月十五日、申込締切ですが、志納金納入は締切以後、二、三回の分納でも結構です。)

今後とも「護法護持」と「寺門興隆」「徒弟育成」のため、是等の事業計画を有縁の皆様との絶大なるご理解を賜り、僧俗一体にて邁進いたしますので、檀信徒各位の一層の御支援御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

南無妙法蓮華經

副住職 日蓮宗 大荒行堂  
 第再行修法相承入行の御挨拶

合掌 檀信徒の皆様方には益々御信仰に御精神の事と

お慶び申し上げます。

日蓮大聖人のご理想であ

くつ・はきもの専門店



やまが中町商店街  
 ☎(0968)43-2282

お食事処



HANAMIZAKA

山鹿市花見坂330~13 ☎44-6435

る、「二天四海、皆帰妙法の世界」を実現するため、法華経の妙薬・お題目信仰を弘めながら、日蓮大聖人のみ教えのもとに、日々安心立命を得ている私たちは、世界全体の中で未だ心の安穩を得ることなく、苦しみ悩む多くの人々に、お題目による救済の手をさしのべるべきであります。自分一人の信仰に徹すること、も大切ですが、先ず周りの一人でも多くの人に「お題目の心」を伝え、「お題目の輪」を弘めることを目差す「求道者」となり、僧俗一体で常寂光土の仏国土建設を果たすため、異体同心で精進しなければ成りません。

さて、先般、平成十四年度、大荒行堂初行を成



初行成満した副住職

満し、日蓮宗の修法師の資格を取得して、今般、圓頓寺に帰山し、法務に専従いたしておりました。が、出家得度以来、宗祖のご遺訓にある「行学の二道を励み候べし、行学たへなば仏法はあるべからず」（諸法実相抄）の御心を、己の、求道心に燃える心を内に秘め、道念堅固にて日夜研鑽精進してまいりました。

申すまでもなく若年の身、未だ現実の厳しき世相と諸問題と取り組み、

そして未だ不十分な修行を成就せしめ心身共に試練の必要ありと我身深く感じ、不肖、荒木英人儀、宿願の日蓮宗大荒行第再行の修法相承「御祈禱秘傳の幣束伝授」の祈禱法奥伝秘法を相承すべく、正中山日蓮宗荒行堂に志願し、平成十八年十一月に不惜身命で入行修行することを決意いたしました。



荒行堂を出た副住職

この日蓮宗の大荒行については皆様御承知の通

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館  
やすらぎの里

**天 寿 苑**

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です



り、寒壺百日間（十一月一日より二月十日まで）と言うものの、入行中は、暁天三時の水行に始まり夜半十一時に至るまで霜雪を踏み一日七回の法水に身を清め、寒風に耐え、睡魔との苦闘、荒むしろに端座して読経三昧と祈願奥義伝授という厳しい行現に従いながら日蓮聖人直伝の「御祈祷秘傳」の秘法が伝授されるまで、道を求めて、まさに命がけの修行を致すこととなります。

皆様方の御期待に添うべく堅い信念のもとに、寒壺百日間の苦修練行中には、日蓮宗立教開宗第七百五十年御報恩の為、自己の罪障消滅、修法成就と、これからの圓頓寺寺門隆昌を請願し、檀信

徒の皆様方の諸願成就の祈願を、致す所存でございます。何卒右賢察の上、一層の賛助御支援を賜ります様お願い申し上げます。大荒行第再行入行の決意と御挨拶を申し上げます。

再 拜

常明山 圓頓寺

副住職 荒木 英人



合掌 此の度、私達の菩提寺圓頓寺の後継法嗣である副住職荒木英人上人は、来る平成十八年十一月一日より、千葉県正中山の荒行堂に入行され、宿願の「法華幣束」の祈禱法奥伝秘法を相承されるため、第再行の大荒行を決意されました。

この修行は、酷寒中の壺百日の厳しい行であり、



副住職を出迎えた役員一同

心から御成満を祈り、御成満後は一層尊き御導きを賜るものとして、将来當山の後を継ぐ副住職英人上人の決意をおくみとり下さいまして、檀信徒皆様の御芳志と甚深なる御支援を賜りますようお願い申し上げます。

圓頓寺筆頭総代

護持会会長 鬼木信次郎

外役員一同

# ニッセイ同和損害保険株式会社

## 熊本支店

〒860-0804 熊本市辛島町5-1 日本生命熊本ビル  
☎ (096) 353-3491 FAX (096) 355-7380







圓頓寺たより 記念号 特別寄稿

縁に不思議な力

熊本県宗務所長

塩田 義徹



まずもって圓頓寺たより 記念号(五十号)の発刊を お祝い申し上げます。

「縁」という言葉があります。私はこの言葉に、不思議な力を感じずにはいられません。日蓮宗の寺に生まれ、日蓮聖人に出会い、お釈迦様に出会い、僧侶となり、住職となり、圓頓寺

様と出会いました。現住職の英知上人とは、昭和四十八年身延山大荒行初行の時始めてお会いしました。当時は福岡県・妙教寺の花田上人であり、圓頓寺様とは無縁の方でした。しかしその後、圓頓寺様に養子としてこれ、荒木英知住職として今のお付き合いをいただいています。

また、荒木英知住職が誕生していなければ、この「圓頓寺たより」が発刊されることもなく、私がこの紙面に登場することもなく、これを読まれる皆様との出会いもありません。同じように、この「圓頓

寺たより」を読まれる方も、圓頓寺様にご縁のある方ばかりでありましょう。先祖代々檀家に生まれた方、檀家の家に嫁がれた方、自分で檀家になられた方、信徒としてお付き合いのある方、あるいはそれぞれのお友達等々、この様なことを考えるとき、「縁」という不思議な力を感じます。

さて、私たち日蓮聖人に縁ある者にとって大きな行事が三つあります。

【ご誕生のお祝い】、【立教開宗のお祝い】、【ご入滅の法要】の三つです。それぞれ五十年に一度慶讃法要・遠忌法要を奉修いたします。

去る平成十四年には、立教開宗七五〇年のお祝いをしました。全国五千余の各寺院でも行事・事業が執り

お題目から、はじまる。



大久保理容店

山鹿市堀明町1025

☎ 43-2410

地区総代 大久保 健 一

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊 範

行われ、皆様の圓頓寺様も記念事業が計画され、寺観が一新されました。

十七年後の平成三十五年には、日蓮聖人ご生誕八百年をお迎えします。

また、圓頓寺様も開創四百年を迎えられます。

今、日蓮宗宗門ではこの記念の年をどのようにお迎えし、どのようにお祝いすべきかを検討中でありま



平成14年立教開宗750年法要

す。圓頓寺檀信徒の皆様もご自分のこととしてお受け止めいただき、宗門に対しご意見ご要望いただければ幸いです。

### 記念号特別寄稿

## 圓頓寺たより五十号に寄せて

久留米市 妙正寺

田中 潮佑



『電話もせんで来て、すまん』。荒木上人が訪ねてみえる時の第一声です。依頼されるままに、お祖師様のお手紙より

最後になりましたが、圓頓寺様のますますのご発展、檀信徒の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

『大聖人のおことば』として寄稿させていただき、もうこんなにか書いたのかと驚きました。

そして、この寺報誌を作り続けられたご住職と編集委員の皆様のご苦勞に、頭が下がります。

先代恵海上人から英人若上人へと、圓頓寺の法燈が着実に三代に亘って受け持たれていく様子が伝わってまいります。

このことは、檀家の皆様

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

# 横手会館

# 横手仕出し

山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

## 割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500